

地方公共団体におけるCM方式採用の拡大

～CMr.に求められるスタンダードと多様性～

1. 拡大するCM方式採用（NCMの実績から）

☆近年の担当業務とプロポーザルにみる傾向

2. CMr.に求められるスタンダードと多様性

【事例】長野市第一庁舎及び長野市芸術館建設事業



設計者：槇・長野設計共同体
施工：前田建設JV・北野建設JVほか

敷地面積：約13,000㎡
建築面積：約5,700㎡
延床面積：約28,500㎡
最高高さ：約39.5m
地上8階・地下2階・塔屋2階
総免震構造（告示免震）

庁舎

1階：共用部・喫茶・売店
2～4階：窓口・執務室
5階：理事者関係諸室
6階：窓口・執務室
7階：議員関連諸室
8階：議場・食堂



芸術館

1・2階：メインホール（1,300席）
B2階：リサイタルホール（300席）
3階：アクトスペース（可動式平土間）



☆地方公共団体から求められるCMrの職能

☆長野市第一庁舎及び長野市芸術館建設事業における
9つの『予防』と7つの『処方』

3. 今後の展望

☆拡大する官庁案件のCM業務